

# 水稻病虫害防除農薬適用表

病虫害名		薬剤名	防除時期	成分数	使用方法	使用回数	防除にあたっての注意事項	
種子消毒	ばか苗病・苗いもち もみ枯細菌病	温湯消毒	浸種前	—	種籾を60℃の温湯に10分間浸漬し、直ちに流水で冷やす	—	専用の温湯処理機を使用する。	
	ばか苗病 苗いもち	テクリードCフロアブル	浸種前	2	200倍液に24時間浸漬（種子4kgに対し8L・40mℓ）	1回	風乾の有無にかかわらず効果がある。	
		ホーマイ水和剤		2	200倍液に24時間浸漬（種子4kgに対し8L・40mℓ）	1回	みのる式ではホーマイ水和剤を使用。消毒後、風乾する。	
苗箱施用	葉いもち イネミズウムシ イネドロオウムシ	ブーンバディート箱粒剤	播種時（覆土前）～移植当日	2	1箱当たり50g（育苗箱の上から均一に散布する）	1回	病虫害同時防除	比重：0.95
		GPオリゼリディア箱粒剤	緑化期～移植当日	2	1箱当たり50g（育苗箱の上から均一に散布する）	1回	病虫害同時防除	比重：0.78
		デジタルメガフレア箱粒剤	移植前3日～移植当日	2	1箱当たり50g（育苗箱の上から均一に散布する）	1回	病虫害同時防除 カメムシへの残効は2ヶ月程度	比重：0.89
	イネミズウムシ イネドロオウムシ	ワンリード箱粒剤08	播種時（覆土前）～移植当日	1	1箱当たり50g（育苗箱の上から均一に散布する）	1回	害虫のみ防除	比重：1.09
		ゼロカウント粒剤	播種時（覆土前） 移植前2日～移植当日	1(0)※	1箱当たり50g（育苗箱の上から均一に散布する）	1回	害虫のみ防除 イネミズウムシは幼虫に効果あり	比重：0.99
ばか苗病・苗立枯細菌病 いもち病・もみ枯細菌病		タフブロック	催芽時	—	200倍液に24時間浸漬（種子4kgに対し8L・40mℓ）	—		
苗立枯病		タチガレースM粉剤	播種5日前～播種前	2	1箱当たり6～8g（みのる式は4g）	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。	
		タチガレースM液剤	播種時又は発芽後	2	1箱当たり500～1,000倍液を500mℓを土壌灌注する	1回		
		ナエファインフロアブル	播種時から緑化期	1	1箱当たり1,000～2,000倍液を500mℓを土壌灌注する	2回以内		
イネミズウムシ イネドロオウムシ		なげこみトレボン	成虫飛来ピーク時 （本田処理5月下旬～6月上旬） 収穫21日前まで	1	4～6個／10a	3回以内	深水にして散布し、4日間は湛水状態を保つ。 薬剤に含まれる成分（油）よっての生理的障害に注意。	
カメムシ類		スタークル粒剤	出穂7～10日後 収穫7日前まで	1	3kg／10a 散布する	3回以内	ミツバチに注意し使用する。	
		スタークル豆つぶ		1	250g／10a 散布する	3回以内	豆つぶ製剤 ミツバチに注意し使用する。 深水3～5cmの状態に散布する。	
カメムシ類 ウンカ類		キラップ粒剤	出穂10日前～出穂期 収穫14日前まで	1	3kg／10a 散布する	2回以内	ミツバチに注意し使用する。	
		キラップ微粒剤F	穂ぞろい期～出穂10日後 収穫14日前まで	1	3～4kg／10a 散布する	2回以内	ミツバチに注意し使用する。 微粒剤散布専用のホース（エコマキホース）あり。	
		キラップフロアブル		1	1,000～2,000倍液 60～200ℓ／10a 散布する	2回以内	ミツバチに注意し使用する。	
		ダントツ水溶剤	出穂10日後 収穫7日前まで	1	4,000倍液 60～150ℓ／10a 散布する	3回以内	ミツバチに注意し使用する。	
いもち病 紋枯病		オリブライト250G	発生10日前～10日後まで 出穂10日前まで 収穫45日前まで	1	250g／10a 散布する	1回	豆つぶ製剤 深水5cm以上の状態に散布する。	
紋枯病		バリダシン粉剤DL	収穫14日前まで	1	3～4kg／10a 散布する	5回以内	株元、葉鞘部に対してもムラのないように 全体に均一散布する。	
いもち病		オリゼメート粒剤	発病10日前～初発時 出穂3～4週間前 収穫14日前まで	1	3～4kg／10a 散布する	2回以内		
		コラトップ粒剤5	出穂30日前～5日前まで	1	3～4kg／10a 散布する	2回以内	投入後3～4日は湛水状態を保つ。	
		コラトップ豆つぶ		1	250g／10a 散布する	2回以内	投入後3～4日は湛水状態を保つ。	
		コラトップジャンボP		1	10～13個（バック）／10a 散布する	2回以内	投入後3～4日は湛水状態を保つ。	
		ビーム粉剤DL	発生初期 出穂後～穂ばらみ期 収穫7日前まで	1	3～4kg／10a 散布する	3回以内		
		ビームゾル		1	1,000倍液 60～150ℓ／10a 散布する	3回以内		
いもち病 稲こうじ病		ブラシン粉剤DL	発生初期 出穂直後～出穂期 収穫7日前まで	2	3～4kg／10a 散布する	2回以内		
		ブラシフロアブル		2	1,000倍液 60～150ℓ／10a 散布する	2回以内		
いもち病 ウンカ類 カメムシ類		ビームスタークル微粒剤F	出穂前～穂ぞろい期 収穫7日前まで	2	3～4kg／10a 散布する	3回以内	微粒剤散布専用のホース（エコマキホース）あり。	
		ワイドパンチ豆つぶ	収穫35日前まで	2	250g／10a 散布する	1回以内	ミツバチに注意し使用する。 豆つぶ製剤 深水5cm以上の状態に散布する。	

※ゼロカウント粒剤は成分数1ですが、成分カウントは0です。（構成成分のスピノサドはカウントしないため）